

経営比較分析表（令和4年度決算）

埼玉県 松伏町

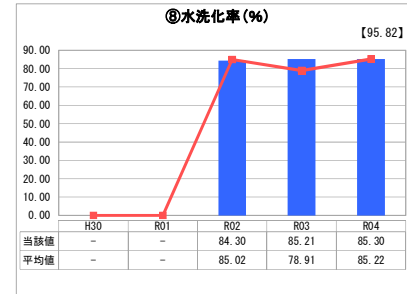
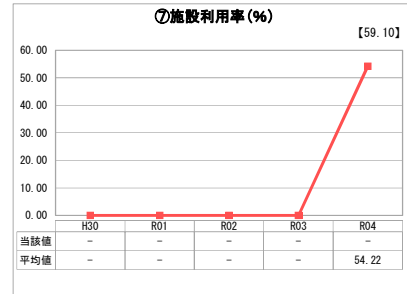
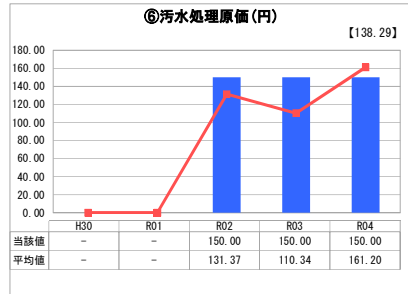
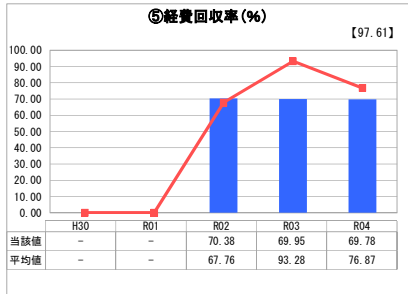
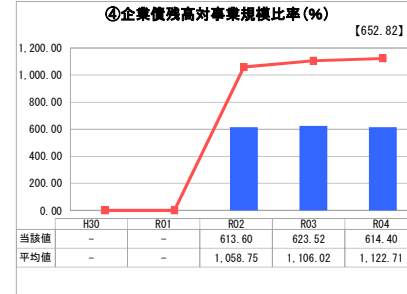
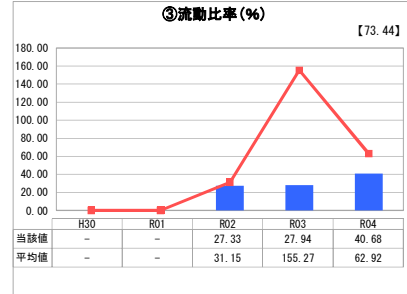
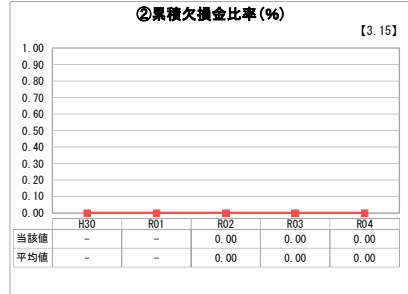
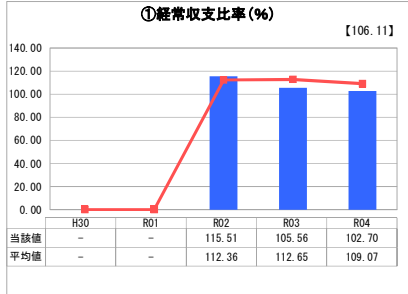
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	75.77	69.60	89.34	2,035

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
28,398	16.20	1,752.96
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
19,686	2.80	7,030.71

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率について
 全国平均値及び類似団体平均値を下回っていますが、単年度収支は黒字を維持しています。一般会計からの繰入による収益が下水道使用料よりも多くなっていることから、段階的な料金改定を実施し公費に依存しない経営体質への改善を図ります。

② R4年度末現在、累積欠損金はありません。

③ 流動比率について
 100%を大きく下回っている状況ですが、起債償還額は毎年減少していく見通しのため、今後この指標は上昇していくことが見込まれます。

④ 企業債務高対事業規模比率について
 他団体平均よりも低い比率となっています。企業債務高は今後減少していく見通しのため、比率もさらに減少していくと考えられます。

⑤ 経費回収率について
 前年度値から微減となり、100%には3割程及ばない状況です。汚水処理費のさらなる減額を図るとともに段階的な料金改定を実施する予定です。

⑥ 汚水処理原価について
 法非適用時から引き続き150円となっています。高コスト要因となっているポンプ施設のメンテナンス及び人的コスト等の見直しを進めます。

⑧ 水洗化率について
 類似団体平均値を上回っており、前年度から微増となっています。水洗化率の向上は事業経営の改善に直結することから、引き続き継続促進について重点的な対策を講じていきます。

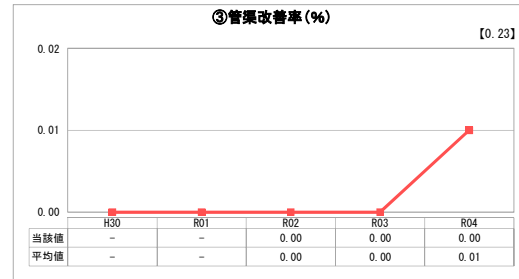
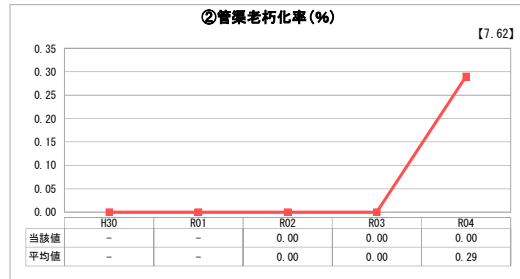
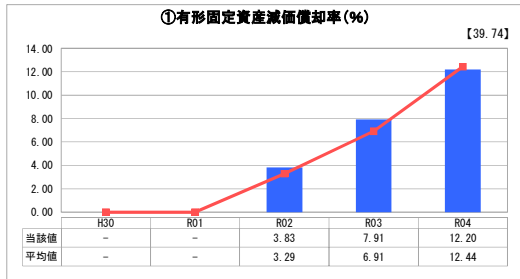
2. 老朽化の状況について

松伏町の公共下水道は平成5年に供用が開始され、平成25年度を以て汚水管渠の整備計画を完了しています。汚水管渠の残存耐用年数が20年以上であることから、本格的な布設替え工事の着手は令和25年度以降となる見込みです。

① 有形固定資産減価償却率について
 汚水管渠については未だ耐用年数を経過していないため、全国平均に比べ低い値となっています。

ただし、町内のポンプ施設等は目標耐用年数を既に経過しているため、令和2年度に策定した下水道ストックマネジメント計画により、施設の改築または改良工事を進捗しています。また、雨水幹線については、全体的に老朽化が進行していることから、目標耐用年数の経過を目的に抜本的な改築計画を策定する必要があります。

2. 老朽化の状況



全体総括

松伏町の将来人口予測については、都心から30km圏内に位置し市街化区域での世帯数は増加し続けているものの、今後5年間の人口推移は減少傾向がさらに顕著となることが予想されます。これに伴い有収水量も人口に比例して減少していくと見込んでいます。

また、各指標を分析した結果、

- ・ 段階的な料金改定の実施
- ・ さらなる水洗化率の向上
- ・ 年々増加する維持管理費の縮減 等

について、より重点的に推し進める必要があります。

不要コストの積極的な抑制と、将来の更新工事等に要する投資財源の確保を両立し、一般会計からの基準外繰入金に頼らない財務体質への改善を進めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和4年度決算）

埼玉県 松伏町

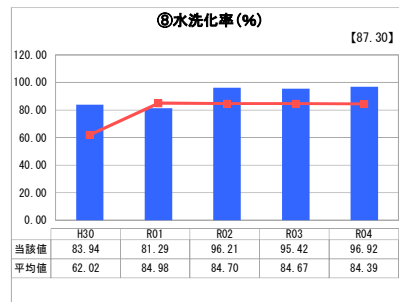
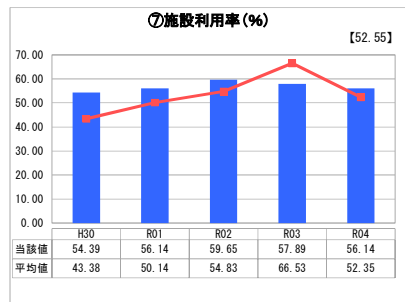
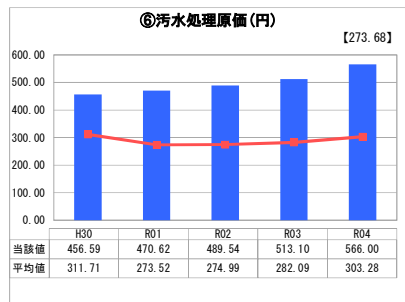
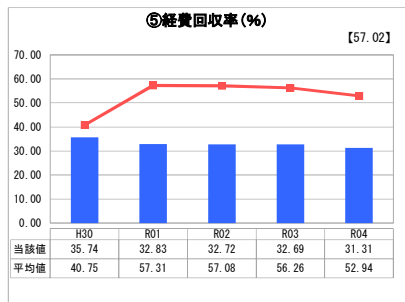
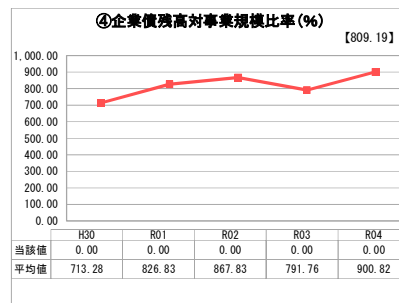
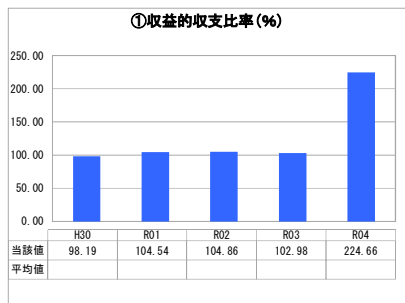
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	0.46	100.00	3,850

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,398	16.20	1,752.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
130	0.04	3,250.00

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

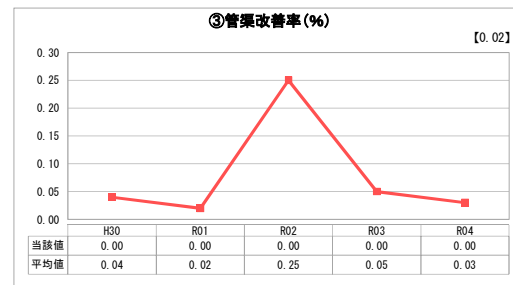
1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率
令和6年度から公営企業会計に移行するにあたり、委託料支払いのため繰入金が増加したことに伴い一時的に収益が増加したものです。委託料の支払いは令和5年度に繰越し、支払います。
- 法非適用のため該当ありません。
- 法非適用のため該当ありません。
- 企業債を近々で発行していないため、当指標の数値はゼロであり該当ありません。
- 経費回収率
類似団体と比べ低い数値を出していますが、農業集落排水施設の汚水処理に係る経費については、主に人件費を繰入金で対応しているため、その経費分を回収し切れていないと考えています。
- 汚水処理原価
類似団体と比べ高い数値を出していますが、小規模であって戸数も少ないことが原因であると考えます。
- 施設利用率
類似団体と比べ高い数値を出していますが、処理計画人数210人のうち131人分を処理している状況のため、農業集落排水施設の処理能力には余裕があると考えます。
- 水洗化率
類似団体と比べ高い数値を出していますが、小規模であって戸数も少ないため、高い水洗化率を示しているものと考えます。

2. 老朽化の状況について

供用開始からおよそ19年を経過したところであり、施設や管路については耐用年数から見ても老朽化についてはすぐに対応する必要はありません。メンテナンスやオーバーホールで対応できる状況ですが、施設の維持管理を行う専門業者による点検結果等を基に、計画的な維持管理を行ってまいります。

2. 老朽化の状況



全体総括

年数経過により、修繕費の増加は避けられないと考えられるため、施設の維持管理を行う専門業者による点検結果等を基に、計画的な維持管理を行い、効率的な施設管理を行ってまいります。

また、収入面においては、現在の徴収率は100%ですが、人口減少等に伴う水洗化人口の減少によって、使用料の増収が見込めないことが想定されることから、事業を実施していくための財源確保については厳しい状況になっていくことが考えられます。

このような状況を踏まえ、限られた財源の中、適正な事業計画と財政計画を基に経営を行ってまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。